



渡辺 優子  
(公明党)

### MRI、MRA検診

**質** 秋田県は、がんや脳卒中などの死亡率が高い。介護が必要になった原因のトップは脳血管疾患によるもの。脳梗塞や脳出血などを発見するためのMRI、MRA検診を助成すべき。

**答** MRI、MRAは、広く医療機関に導入されてきているが、脳検診の実施可能な医療機関が少ないことや、検査に要する医療点数から推測して高額な補助負担が予想されるなど課題が多く、市としては特定健診により高血圧や高脂血症等、生活習慣病予備群の減少を図る一次予防に重点を置きながら対応したい。

### 農工商連携で地域活性化の促進

**質** 中小企業と農林漁業者が連携して新たな事業をおこす場合、国が認定すると生産、販売などに支援措置が受けられる。国の支援事業を活用し、地域活性化の促進に取り組むべき。

**答** 国の制度を活用するには、農林漁業者と中小企業者が、地域力連携拠点である商工会議所や食料産業クラスター協議会、ハンズオン支援事務局等からの支援で事業計画を作成することになる。市としては、各関係機関と連携し、当制度の周知を図りながら制度が有効活用されるよう、事業希望者への支援に努めていきたい。

#### その他の質問事項

- ・高齢者運転免許自主返納
- ・岩手・宮城地震の教訓に学ぶ



菅原 隆文  
(よねしろ会)

### 新成人アンケートの齊藤市政の評価

**質** 新成人アンケートの「齊藤市政の評価について」は、全体で48%、二ツ井地区に限れば64%が評価しないとなっている。この厳しい結果について、市長はどう考えているか。

**答** 市政の評価については、一つの結果として真摯に受けとめている。厳しい地域経済等の中で、まちに活気が感じられないという若者の心境が反映された結果として考えている。こうしたことを打破するため、若者の定住に結びつく施策を重点的に取り組むを進めることとしている。

### 市の急速な人口減少、打つ手は何か

**質** この10年間で人口が5865人の減。昨年は平均をはるかに超える943人の減。人口増のための結婚願望のある若者の出会いを創出する具体的な施策はないか。

**答** 旧能代市では平成16年度まで、未婚男女の出会いの場のイベントを実施していたが、参加者の減少等により終了した。昨年度は二ツ井町商工会青年部を中心にイベントが開催されており、民間団体等の協力を得ながらコンサートやイベントなどの出会いのきっかけづくりができないか検討している。

#### その他の質問事項

- ・街路樹の剪定、市と国県の連携は
- ・桜づつみ公園・きみまち阪の管理は
- ・空き家等老朽化に伴う廃屋対策は



庄司 紘八  
(市民の声)

### 県が進める地域振興局集約化

**質** 集約化は余りにも拙速すぎではないか。拙速に規制緩和をした小泉改革の秋田県版になることを恐れている。十分な説明や状況整備なしに事を進める怖さも知るべきでは。

**答** 不安はあるが、県でも行財政改革の必要はあり、見直しもやむを得ないと考えている。地域振興局の再編に当たり、県では市町村に要望を聞く機会を設けているが、地域の期待にこたえる組織とすること、リサイクル産業の連携強化等の施策の推進などの要望を伝えており、県にはこうした配慮を望むものである。

### 市役所新庁舎建設

**質** 新庁舎の建設は、建設場所や時期の問題など課題が山積している。合併特例債を使う場合、この先2年くらいの間に結論を出す必要があるようだが、具体的に示す時期は。

**答** 今年度は耐震診断を行い、庁内検討会議を設置して現庁舎等の公共施設としての活用の可能性や整備手法等を検討することとしている。22年度までに庁舎整備の方向づけし、27年度までの完成を目指したいと考えているが、具体的な建設位置と建設時期については、裏づけとなる資料が整うまで時間をいただきたい。

#### その他の質問事項

- ・国交省陳情に対する知事発言
- ・努力したら報われる入札制度
- ・能代工業団地規制緩和交渉